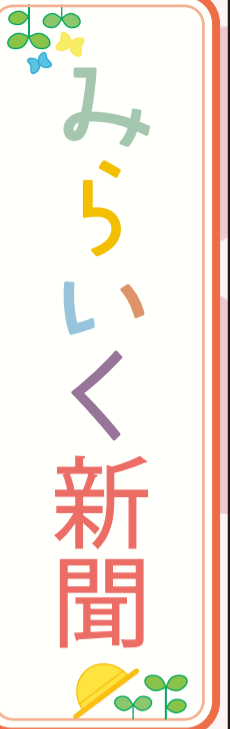


ご卒園おめでとうございます



2023年3月
第十七号

発行元：みらいく
信州子育てみらいネット
広報担当



みらいく小布施
りんご組担任 牧先生

りんご組さんは先生や友だちと一緒に遊ぶのが大好きで、たくさんお散歩に出かけて身体を動かして過ごしました。元氣いっぱいの子どもたちは、1年間で長い距離を歩けるようになったり、お友だちと手を繋いで同じペースで歩いたり、お友だちと色々な場面でも成長を感じました。小布施は自然がいっぱいなので、散歩の途中にりんごやくりの木を見つけては、みんな「大きくなった？」「すごいね！」と友だちとの言葉のやり取りもどんどん増えて、会話を楽しみながら大きく実る様子を見守っていくことができました。公園や農道、小布施駅などたくさんある場所に出かけてたくさんのお話を話してやり取りを楽しんでいた日々でした。毎朝大きな声で「おはよう！」とあいさつをしてくれる笑顔いっぱいのもっと楽しいクラスで、みんなの大きな笑い声で溢れていました。年少になっても笑顔あふれる日々と、みんなのこれらの成長を応援しています。



みらいく早苗町
くじら組担任 林部先生

個性豊かで元氣いっぱいの子どものクラスのクラスでした。時には甘えん坊な姿もありますがガッツのある子が多く、お互い刺激し合ったり「他の子がやっているから自分もやりたい」というやる気につながり、今では競い合うようになっているほど自分で出来ることが増えました。遊びの発想は一人一人個性が溢れていて、子どもたちのイメージをこわさないように声をかけ過ぎず見守りました。その中でななめ上をいくようなアイデアや言葉を聞いて感心することもあり、子どもの考えていることを知れて毎日楽しかったです。子どもたちの仲間とも良く、自分の意思を言葉にしながら子どもたち同士でさらに仲を深め合っていく様子がかげえました。この一年でお友達付き合いに必要と言葉も言えるようになり、保育士の話も聞けるようになってきたりと、身体だけでなく内面的な成長も感じています。また違う環境でもどんどん刺激を受けて、たくましくなっていくと願っています。



中野みらいく保育園
そら組担任 帯刀先生

元氣いっぱい人懐こく、子どもらしさがあふれるクラスでした。お散歩に行けばすれ違う人みんなにあいさつをし、何かの凱旋パレードのように手を振っていました。野菜を全く食べなかった子が今では全部ひとりで完食できるようになり、思い通りにいかないことすら泣けてしまった子は言葉でお話してできるようになったりと、それぞれの成長を感じられました。とくに遊び方に関しては、「公園に行ってもお部屋にいても一緒に遊ぶほう」とみんなが集まったり、誰か一人でもいないと探したり行ったりとみんなで遊ぶことが好きになりました。ケンカはほとんど見たことがなくお互いを思いやっていて、おもちゃをゆずってあげられるなど上手に貸し借りを自分たちで解決していました。自信をもって送り出せるくらいみんな成長しましたし、お友達との関わり方も上手な子たちなので、これから大きな保育園に行ってもたくさんお友達を作って元気に過ごしてくれるだろうと思っています。



みらいく県町
ゆり組担任 中島先生

個性あふれるクラスで、それぞれ好きなものは違うけれどお友達同士の言葉のやり取りが増えてきて、自分たちで会話して完結して終わっていることもありました。何でも自分で挑戦しようと頑張っている子どもたちで、最近ではみんなの前に立ってお当番もできるようにになりました。「今これをやるんだよ」と教え合う姿や、ふとしたことをみんなが笑いあっている姿を見ると、お互いが大好きなんだなと感じ微笑ましく思います。誰かがケガをしたり具合が悪いとご飯を食べるのをやめてまで心配してくれるなど、お互いを思いやる気持ちがとても育ちました。年下の子とも仲良く遊んで優しくして、お兄さんお姉さんらしさも感じられるようになりました。自分の楽しかった経験を取り入れてみんなをこっご遊びに巻き込んでみたり、何かに変身してたりするゲームがあったりと毎日楽しんで過ごしてくれています。それぞれの頑張っている姿を応援しながら温かく送り出したいと思います。



みらいく高田
ぱんだ組担任 尾島先生

とてもにぎやかですが反応が良くリアクションをしっかりしてくれるクラスです。何かしようと声をかけると「わーい！」と言って飛び跳ねてくれることが多く、いつも嬉しく思っています。4月頃はまだ外に行くにも準備をするにもその都度声掛けが必要でしたが、最近ではもう準備する流れが分かっていたり自ら進んで着脱もできるようになりました。また、汚れたら自分で気づいて「着替えなきゃ！」と言って着替えたりするので、きれいにしようという思いを感じ始めているようです。それぞれ好きなお友達はいるようですが、誰とでもお話したり楽しんで遊んだりしてくれています。おもちゃの貸し借りでトラブルがあっても、「じゅんばんこね」と保育者の真似をして言ってみたりお友達に言葉で伝えようとしてみたりする姿があり、自分の気持ちのコントロールができるようになってきました。これからもできれば成長する姿を見たいと思います。うーらい、大好きでかわいい子どもたちです。



みらいく保育園
ひまわり組担任 高松先生

最初は個々で動いていたクラスでしたが、だんだんと集団として生活できるようになり、今ではお友達と遊ぶのが楽しく保育園に来ているようです。以前はよくわからず来ていた子ども今では楽しいと思ってくれているから「おはよう」と朝言ってきたり、遊びでは好きなおもちゃを自分で選べるようになってきたり、子どもたちの発想が広がって想像力豊かに遊ぶ姿が見られました。「〇〇ちゃんはお母さん役ね」「わたし先生やる！」など、子どもたちの中で遊びがどんどん展開されていく様子がとても面白く感じました。優しい子たちばかりなのでケンカはほとんどなく、お友だちが少し離れた場所にあるおもちゃをとろうと手を伸ばせば、それを見ていた子がとってあげていました。きちんと「ありがと」も言っていて、とても感じています。身の回りのことも習慣づいてきたので、自主的に動けるようになってきて安心して見守っています。

行事紹介 *クリスマス会*

みらいく高田

計画担当 黒岩先生



クリスマス会では0歳児が「アンパンマン体操」、1歳児が「どんな色が好き」、2歳児が「パンダ銭湯」を発表しました。0歳児さんは、自分で好きなキャラクターの衣装を選び一人で着て発表！お名前を呼ばれると「はいー」とお返事ができ、日に日に出来る事が増える姿に成長を感じました。1歳児さんは、カラフルな衣装に包まれ登場！ピアノに合わせて踊る姿がとても可愛らしく、最後はみんなでかっこよくポーズを決めました。2歳児さんの「パンダ銭湯」では、リズムに合わせてお友達の背中を「ごしごし、しゅっしゅっ」と仲良く洗い合う姿がとても印象的でした。最後のお歌では大きな声で一生懸命に歌っていました。サンタさんが登場するとみんなプレゼントに目を輝かせながら一人一人受け取り、記念撮影をして素敵なクリスマスとなりました。

中野みらいく保育園

計画担当 帯刀先生



今回は胃腸炎の感染予防のため、各クラスお部屋で活動中に鈴の合図でサンタさんとトナカイに順番で来てもらいました。プレゼントを一人一個ずつもらうだけのシンプルなお楽しみになりました。びっくりした様子の子が多く子どもたちにとっては印象に残ったようです。サンタさんがいなくなった後によく嬉しそうに話したり、「サンタさんきたね」「どこからきたのかな」など時間差でも喜んでいました。子どもたちはクリスマスに向けてあわてんぼうのサンタクロースを毎日歌って練習し、サンタさんが来るのを楽しみにしていたので、計画通りのクリスマス会が開催できたのは残念ですが、プレゼントをもらって嬉しそうなお返事を聞いたり、クリスマス会の雰囲気も味わって良かったと感じました。

行事紹介 *豆まき*

みらいく県町

計画担当 小林先生



今年もまずは段ボール鬼にボールを投げて、子どもたちと楽しむことをベースに豆まきごっこをしました。少し前から絵本などを使い、節分の日に自分の心の中のいろんな悪い鬼をやっつけようというねらいをもって過ごせていたのですが、当日ははじめは楽しくボール投げをしていたのが、本当に鬼が出てくると真剣に取り組み姿が見られました。0歳児は分からないながらもボールを持って構えていたり、1歳児は先生のお膝に座ったまま動けない子がいたりなど様々な反応が見られました。2歳児は鬼の製作などを通して節分に鬼が来ることを想像できていて、本番は気分十分中でやっつけたことがとても自信になりました。保護者さんに「今日鬼やっつけたよ」と話している姿から、子どもながらに達成感を感じている様子がかげえました。

みらいく高田

計画担当 尾島先生



今回はあまり怖い鬼ではなく親しみやすいような鬼を意識しました。鬼役の保育者の顔が見えるようなお面にしたり、最後に福の神が助けに来て幸せを運んでくれるという流れにしました。子どもたちと鬼の製作をしたときに鬼の話をすると顔がかわる子もいたのですが、やっぱり鬼は怖いものというイメージがあるようです。子どもたちがいやな思いだけが残らないよう、あくまでも自分の心の中の鬼を退治しようというねらいで、今年一年幸せに過ごせるように行事の意味を伝えました。事前に練習したこともあり本番では少し怖がる子もいましたが、泣かずにちゃんと豆を投げていく姿が見られました。終わってから「こわかった！でも楽しかった」と話してくれたり、笑顔も多く見られたので楽しんでくれた良かったです。



みらいく小布施 計画担当 原先生

0歳児は保育者と一緒に鈴などが入ったペットボトルの楽器を振ってみたり、曲に合わせて身体を動かしてみたりと思い思いに音楽遊びを楽しんでくれました。1歳児はあわてんぼうのサンタクロースやジグザグの覚えている部分を歌いながら、鈴をたたく子もいました。最後には「バイバイ」とサンタさんに手を振っている様子が見られました。2歳児はタンバリンを持って上手に音楽遊びをしていて、サンタさんが登場すると興味深々な様子で、プレゼントは何をもらったのかと目を輝かせて楽しみにしている姿もありました。今回は事前にクリスマス会の練習を行ったことで、当日は落ち着いて取り組むことができ、子どもたちがとても楽しんでクリスマス会に参加している様子が見られてとても嬉しかったです。

みらいく県町 計画担当 中島先生

はじめにクリスマスにちなんだマグネットシアターを見たあと、段ボールを大小重ねて作った立体的なクリスマスツリーに飾り付けをして、ライトを点灯しました。その後お歌を歌ってサンタさんが登場すると不思議そうな表情をしていた子どもたちでしたが、ダンスと一緒にやっているうちに打ち解けたのか、嬉しそうにプレゼントをもらっていました。最後にはハイタッチしたり、「ありがとう」と言っている姿を見たり交流する姿がありました。飾り付けたオーナメントは各クラス製作遊びで子どもたちが作ったもので、クリスマスが来る前から雰囲気も味わってもらえたかなと思います。飾り終わった後それぞれ作ったものをお互いに見合ったり、ライトが飾りきらりと喜んでいてとても盛り上がりました。今回は内容盛りだくさんなクリスマス会でしたが、子どもたちが最後まで飽きずに興味を持って参加してくれる姿が見られて良かったです。

夜の保育園みらいく 計画担当 川崎先生

今回のクリスマス会は、壁に貼ってある大きなクリスマスツリーにみんなで飾り付けていくのをメインイベントとして実施しました。子どもたちに少し大きめで丸い形のシールを何色か見せて、一人一人好きな色を選んで壁面のツリーへそれぞれ自由に貼ってもらいました。低年齢の子は先生に抱っこしてもらってツリーの上の方に貼ってみたい、高年齢の子はわあーと集まって夢中で代わる代わる貼っていたり、飽きずにとっても集中して楽しんで見られました。壁面ツリーの飾り付けが完成した後サンタさんに登場してもらい、子どもたちは誰一人泣かずプレゼントをもらいに行列が伸びました。おじぎをする子やきちんと「ありがとう」と言っていた子もいて、みんなお礼ができていたこととても感じました。クリスマス会が終わっても「サンタさんいたよ」と話してくれたり、保護者の方からおうちで喜んでいた様子も聞いて、とても印象に残ったよう良かったです。

みらいく早苗町 計画担当 水倉先生

去年の鬼がけごっこ怖かったので、今年はおもしろい鬼のお面が顔に見えるようにして、親しみを持ってもらい楽しんでもらうことをねらいとして計画しました。当日は様々なコーナー遊びがあり、食いしんぼや鬼はらひんなど食べ物をポイポイ入れて食べさせたり、泣き虫鬼にボールを当てるパタパタと倒れて笑顔の鬼に変わったり、かわいい鬼の顔出しパネルを覗いてみたりして楽しめました。お部屋の行き来をする時走り回らないよう、大きなお口を開けた鬼のトンネルを通ってもらう工夫もしましたが、子どもたちにとってはそれも楽しかったようです。その後鬼が登場するのですが、まず鬼が子どもたち全員に鬼のパンツを配り、一緒に鬼のパンツを歌って楽しんでいる姿ができました。子どもたちも「楽しかった！」「こわくなかったよ」と話してくれて、とても楽しんでくれた様子が見られて良かったです。

夜の保育園みらいく 計画担当 坂戸先生

子どもも大人も待ちに待っていた豆まきごっこですが、今年はおもしろい子も多かったので少し優しい鬼を登場させることにしました。はじめに子どもたちに「鬼が来る日だから豆まきの練習をしよう」と声をかけると、「鬼来てもほくやっつけようよー先生ごっこで待っていいよー」とかっこいい言葉も聞かえてきて、やる気満々の様子でみんなとても張り切っていました。しかしいざ本当に鬼が出てくると、子どもたちは怖くて泣いてしまったり、しばらく保育士の後ろに隠れていました。それでも頑張って保育士に抱っこしてもらいながら豆に見立てたボールを一生懸命投げて、退治しようとする姿が見られました。保育士が鬼と話をして触れ合うことでようやく安心し、最後は鬼からお菓子のプレゼントをもらって、少しホッとしたような様子の子もたちでした。

中野みらいく保育園 計画担当 外谷先生

まずは子どもたちに、節分がどんな行事なのかを手作りした紙芝居でお話しました。その後各クラスの豆入れの製作発表をして、大きな口を開けた段ボールの鬼に向かって豆まきの練習をしました。途中でピンポンが鳴って鬼が来るのですが、今回は「怖くないみんなと仲良くしたい鬼」という設定で、鬼さんが自己紹介をして鍵盤ハーモニカを吹いたり、好きな食べ物を紹介したりしました。最初豆まき前は「鬼さんこわい」と泣きそうになるほど怖がっていた子どもたちでしたが、怖くないことが分かること安心のか仲良くなり、笑顔で豆まきすることができました。そして鬼のパンツをみんな歌って楽しく記念写真を撮って終わることができました。今回は豆まきという行事を楽しんでも良かったです。

みらいく保育園 計画担当 金井先生



当日は飾り付けを済ませたお部屋にクリスマス会の曲を流し、子どもたちもクリスマス帽の帽子をかぶるなど朝のうちに雰囲気作りをしたので、子どもたちもとても期待した様子でワクワクしていました。クリスマス会でははじめに各クラスの出しもの発表があり、0歳児はお名前呼びや普段の遊び、1歳児は手遊びや鈴を使った演奏など、普段から取り組んで上手になった姿を見せてくれました。2歳児はお歌と合奏をしてくれてとても上手にできました。絵本を読み聞かせた後サンタさんとトナカイが登場してもらい、プレゼントをもらいました。サンタさんが登場した時は、びっくりしてしまったり緊張したような表情の子が多かったのですが、プレゼントをもらうとみんな嬉しそうでした。計画し始めた時は大変でしたが、先生方から意見ももらいみんなで相談しながら流れを決めることができました。子どもたちにも楽しんで良かったと思います。

みらいく早苗町 計画担当 稲守先生



クリスマス会が始まる前から子どもたちはとても楽しみにしている様子でした。はじめの製作発表では、今回全クラス共通の三角形でツリー製作をし、それをさらに組み合わせて大きな2本のツリーを完成させました。「これは〇〇ちゃんのだよ」と教えてくれる子もいて楽しんで鑑賞できました。今年はサンタさんにまず鈴を鳴らしてドアからのぞいてもらい、子どもたちが見つけてからみんなで「サンタさんー」と呼んで登場しました。子どもたちは一人一人名前を呼ばれると、怖がらずにしっかりとプレゼントを取りに行くことができました。行事が終わった後も「これらったよ」「なにかなあ」と嬉しそうなお返しが続きました。全体を通して子どもたちが楽しんで参加できている姿を見られて、とても良かったです。数日後も保護者さんからも喜んでくれる様子や、繰り返し遊んでくれていたお話を聞いて嬉しかったです。

みらいく小布施 計画担当 三ツ井先生



はじめに未満児さんにも分かりやすいようペーパーサートを通して、節分はどんな日なのかをお話しました。子どもたちは「ペーパーサートに夢中で、おにはそとー」のセリフの部分で一緒に声を出して楽しみなから参加している姿も見られました。その後各クラスで製作したお面をつけ、まずは段ボールで作った鬼にボールを投げて鬼退治をしました。子どもたちは「おにはそとー」「くはーくはー」と大きな声で豆まきを楽しんでいました。そんな中、扉からドンドンと音かして青鬼と赤鬼が登場すると、びっくり涙を流している子どもたちの姿も見られました。豆まきの会が終わった後も、鬼の話をすると子や豆まきの歌を歌っている子もいて、印象に残ってくれたと感じ嬉しく思いました。今後子どもたちが楽しめるような行事内容を考えていきたいです。

みらいく保育園 計画担当 高松先生



はじめに節分のお歌を歌い、お面や三方(豆入れ)の製作を発表して、みんなが豆まきをしました。鬼来るから明日保育園来ない」と怖がっている子もいましたが、今年はお部屋で鬼を登場させて怖くない豆まきをする、子どもたちは壁面に設置した鬼に向かって「おにはそとーくはーくはー」と上手に豆まきすることができました。途中「飽きることがないようリアルな鬼の泣き声をBGMで流したり、先生方が壁面の鬼を持って移動したり工夫したので、より一層張り切って豆を投げていました。天井から吊るした風船鬼には泣いている顔や怒っている顔など様々な表情を用意したので、楽しんで投げられました。子どもたちが最後まで集中してやってくれた姿が見られて良かったです。またお家でも鬼のお面を壁に付けて豆まきを楽しんでいた様子も聞いて嬉しかったです。

職員研修

全職員研修

10月23日、30日に全職員研修が実施されました。今回は感染症対策のためEASTブロックとWESTブロックの2回に分け、講師の安田雅彦さん(masaさん)にご協力をお願いしお越しいただきました。「共に働く仲間を知る」、「ウェルビーイングな理想の園づくり」を大きなテーマに、様々なワークを通して楽しく学びました。どの園でも和気あいあいとワークを楽しみながら協力して考えることができました。最後に「オリジナルの園歌」を作曲するワークがあり、各園で掲げた行動指針が素敵な歌に仕上がりました。



正職員研修

12月10日〜11日にかけて、正規職員を対象とした研修が実施されました。毎年講師には「指示ゼロ経営」著者の米澤晋也先生をお招きして、自律型組織について学びました。

「良い組織になると自然と指示命令がなくなっていく」ということを、ゲームのようなワークをしたり分かりやすい実際の事例を紹介した短い動画を通して、具体的に理解を深めることができました。



新卒社会人基礎マナー研修&施設長との交流会

2月20日、内定者向けの社会人基礎研修が実施されました。研修では少し肩に力が入ったまま真剣な眼差しを向けていましたが、少しずつ仲間を知り、午後の交流会では和気あいあいとワークを進めていました。

●参加者の声
最初は緊張してしまいましたが、同期の人と話したり各園の施設長とお話してきたことで、これから保育士として働くイメージができ、とても良い経験となりました。



子育てポケット

YouTubeチャンネル

登録者数 1500人突破!

子育てに役立つ情報や、家庭でも気軽に参考にできる動画を配信するYouTubeチャンネル「子育てポケット」では、登録者数が1500人を超えました。2021年8月からスタートした当チャンネルは、皆様の温かい声に支えられながら少しずつ成長し、現在までに100本以上の動画を公開しています。中でも「カラオケまねきねこ」とのコラボ企画や有名人対談企画は必見です!

今後も親子で楽しみながら学べる動画を配信し、子育て中の多くの皆様を応援していきたいと思えます。

子育てポケット



▼前向きになれる♪
子育て情報メディア

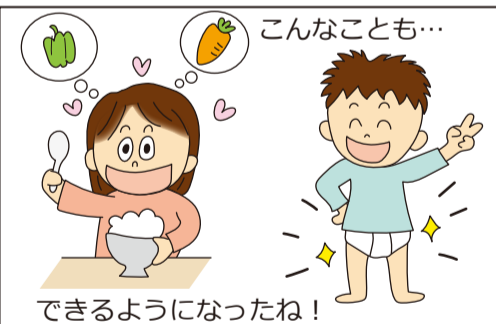
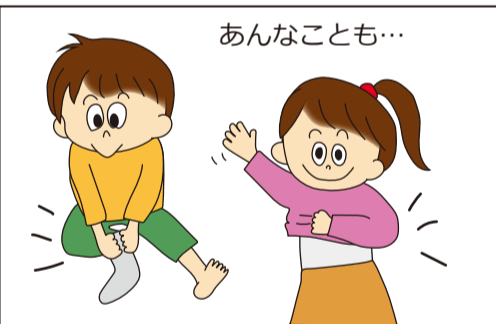


▼子育てっていいな!
を皆様にお届け♪
YouTubeチャンネル



ずっと応援してるよ

作:北澤先生(みらいく高田)



PICKUP!!

中野みらいく保育園

笑顔の研究



11月頃から中野園では「笑顔」を意識した取り組みをしています。提案したきっかけなど詳しいお話を伺いました。

●施設管理者 近藤先生のお話

マスク生活の中で普段から笑顔を意識し続けることが難しいという問題に気づき、1年目の先生を中心に担任の先生方と相談して取り組み始めました。保育者は保護者対応だけでなく、お散歩中や地域交流など様々な場面で見られるようにしたいという目的を共有しました。また、表情筋を動かすことでリフトアップの効果も期待できるみたいなので、全ての職員さんにオススメしたいです!

